

新たな専門調査会の設置について（案）

平成 28 年 10 月 7 日
男女共同参画会議

平成 27 年 12 月に閣議決定した第 4 次男女共同参画基本計画（以下「基本計画」という。）及び「女性活躍加速のための重点方針」（以下「重点方針」という。）に基づく各府省の取組を促進するため、以下の専門調査会を設置し、専門委員等による検討を行う。

【男性の暮らし方・意識の変革に関する専門調査会】

働き方改革と表裏一体として女性活躍を加速するため、男性の暮らし方・意識の変革に向けた方策について調査検討する。

< 参考：既存の専門調査会 >

○重点方針専門調査会（継続）

基本計画Ⅳ 2 ①から③に基づき、施策の実施状況を監視し、政府が定める重点方針に盛り込むべき事項について調査検討する。また、重点方針に基づく各府省の予算概算要求等の状況について調査検討する。

さらに、政府の施策が男女共同参画社会の形成に及ぼす影響を調査検討する。

○女性に対する暴力に関する専門調査会（継続）

配偶者からの暴力、ストーカー事案、性犯罪、売買春、人身取引、セクシュアル・ハラスメント等の各分野を念頭に置きつつ、暴力防止や被害者支援などの今後の施策の在り方などについて、調査検討する。

○第4次男女共同参画基本計画(平成27年12月25日閣議決定)(抄)

第2部 施策の基本的方向と具体的な取組

I あらゆる分野における女性の活躍

第1分野 男性中心型労働慣行等の変革と女性の活躍

<基本的考え方>

(略)

働く場面においては、勤続年数を重視しがちな年功的な処遇の下、長時間勤務や転勤が当然とされている男性中心の働き方等を前提とする労働慣行(以下「男性中心型労働慣行」という。)が依然として根付いており、育児・介護等と両立しつつ能力を十分に発揮して働きたい女性が思うように活躍できない背景となっている。また、生活の場面においても、これまで男性は、家事・育児・介護等への参画や地域社会への貢献などが必ずしも十分でない状況等により、家事・育児・介護等における女性側の負担が大きくなるなど、家庭以外の場所における女性の活躍が困難になる場合が多かった。他方、家事・育児・介護等の多様な経験は、マネジメント力の向上や多様な価値観の醸成などを通じ職務における視野を広げるなど、男性自身のキャリア形成にも重要な機会であるが、それを逃すことにもなっていた。

(略)

1 長時間労働の削減等の働き方改革

施策の基本的方向	
少子高齢化の進展や共働き世帯が増加し、今後、 <u>育児や介護といった家庭生活における男性の役割が増加</u> する中で、これまで長時間労働や転勤を当然とする働き方が多かった男性においても、短時間勤務や所定労働時間内での勤務等、労働に関する時間制約が生じる者の増加が見込まれる。男女が共に仕事と生活を両立しつつ、その個性と能力を發揮して活躍できるよう、ICTサービスの利活用も含め、これまでの <u>働き方を抜本的に見直す必要</u> がある。	
具体的な取組	担当府省
(略)	(略)

2 家事・育児・介護等に男性が参画可能となるための環境整備

施策の基本的方向
我が国においては、固定的な性別役割分担意識や性差に関する偏見を背景に、男性中心型労働慣行が維持されていることなどにより、 <u>男性の十分な分担が必ずしも得られず、家事や子育て等における女性の負担が</u>

<p><u>重くなっている</u> のが実態であり、その結果、女性が職場において活躍することが困難になる場合が多い。一方、<u>男性は、家事に不慣れ等の状況</u> や、<u>孤立した介護生活となっている例もある</u>。このため、<u>男性に両立支援制度の活用を促すことにより、男性の家庭生活への参画を強力に促進する必要</u> がある。</p>	
具体的な取組	担当府省
(略)	(略)

3 男女共同参画に関する男性の理解の促進

<p>施策の基本的方向</p>	
<p>固定的な性別役割分担意識や性差に関する偏見について、時代とともに変わりつつあるものの、特に男性に強く残っており、そのことが <u>家事や育児、家族の介護等の家庭的責任の多くを事実上女性が担っている</u> ことにつながっているとの指摘もあることから、<u>男性の家事・育児等の家庭生活への参画を促進すべく、意識啓発や相談活動等を通じ、男女共同参画への男性の理解の促進や意識の改革</u> を図る。</p>	
具体的な取組	担当府省
(略)	(略)

○女性活躍加速のための重点方針 2016（平成 28 年 5 月 20 日 すべての女性が輝く社会づくり本部決定） （抄）

（略）

また、女性が仕事と子育て・介護等とを両立できる環境の整備も大きな課題であるが、そのためには、長時間労働の削減や多様で柔軟な働き方の実現を図っていくとともに、仕事や家事・育児等に対する男性の意識変革を強力に促していくことが喫緊の課題 である。

（略）

I あらゆる分野における女性の活躍

1. 多様な働き方の推進、男性の暮らし方・意識の変革

（6）男性が家事・育児等へ参画する国民全体の気運の醸成

- ① 男性が家事・育児等に参画する社会の実現に向け、官民の有機的な連携を更に進め、都市部を中心としたキャンペーンを、特に若年代を中心に実施する。また、企業や経済団体等との連携、地域における横断的取組、家事・育児等への参画を促す商品・サービスの普及等、男性の家事・育児等への参画を促進する方策を総合的に推進する。